

【教科名】 算数科	【領域・単元名】 A 数と計算
--------------	--------------------

【① 指導内容】

教科書:さんすう☆☆☆ P17 「大きなかずのかきかた②」

- ・十進法位取り記数法
- ・21以上の数の大きさと読み書き

②(児童がこれまでに算数で学んできたこと)を踏まえ、ホームページ資料「各教科の段階表」を確認し、該当の部分を記入しました。

【② 児童生徒の実態】

これまでの教科・領域に関する姿	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい特別支援学校小学部3段階 ・20までの数で、数詞を唱え、個数を数え数字 ・10の補数を考える時、指を使って考えること ・20までの数で数字だけで大小を比較する時、 ・10のまとまりを作って数えることを先月学習している。
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、人と関わることが好き。 ・実際に体験をしたこと、見たことをよく覚えて
支援が必要などころ	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の刺激に反応することで、教師の話に注意が 活動の目的や内容が理解されていないことがあり勝手に活動を始めて終わってしまう。

児童の「強み」「支援が必要などころ」を踏まえながら③④を考えました。

「人とかかわることが好きだから、いろいろな人へのプレゼントの活動を入れよう」

「体験することで身につくので、操作活動をたくさん取り入れよう」

【③ 単元(題材)のねらい[知・思・学の観点]と手立て】

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数は、10のまとまりと端数という考え方を理解し、2位数 ・10のまとまりを意識しながら、数の数え方と表し方を考えよう ・数を数えたり数字で表したりすることに関心をもち、身近なものを数えたり数字で表した
手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・操作をしながら考えるために位取り板と数図ブロックを使用する ・絵を使いながら端的な言葉で順序立てて話をする。 ・誰かのために役立ったという感じが得られるようにする。

ここでは、「各教科の段階表」と特別支援学校学習指導要領各教科等編(小学部・中学部)、☆本教科書解説を参考に

特支 CS 知的の場合のみ、①～③を踏まえて活動内容を考え、この欄に記入しましょう。

【④ 主な活動内容】

- ひまわりの種を数えて、プレゼントする活動
 - ・図書館の絵本を数える活動
 - ・ゲーム感覚でブロックを何個積み上げられるか
 - ・クイズ「何個あるでしょう」を紙に書いて掲
- 人数分のストローを数える活動

児童が主体的に学び、生活の中で使う力として資質・能力を身に付けるためにどんな活動を取り入れたらいいか考えました。

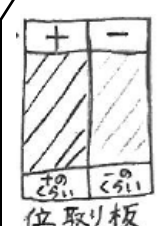
「いくつかの候補から、今回は畑にできたひまわりの種や、毎日使うストローを数える活動を取り入れてみよう。

～必然性の中でくり返し操作ができる!

～プレゼントしたり配ったりする中で自ら思考する場面を作り出すことができる!

【⑤ 単元(題材)計画】

単元(題材)名(かぞえめい人になろう~20より大きいかず~) 全(5)時間

月日 ()	次	時	ねらい 児童生徒へ提示するめあて	主な学習活動	準備物	記録 次回への改善点
9/7 (火)	1	1	・10のまとまりを意識しながら、ひまわりの種を数えようとしている。(学) くふうしてひまわりのたねをかぞえよう	・先生にプレゼント。 ・1個ずつ数える、他の数え方はある? 「大きな数を数えることは大変」という体感 →これまでに学習した“10のまとまりをつくる”よさに気づけるようにしました。	ひまわりの種	ぬうい〇
9/8 (水)		1	・2位数の構成について理解する。(知・技) かずのひみつを見つけよう	・位取り板を使って、数える。書く。 「種を実際に置いて確かめる」という操作ができるよう、位取り板に工夫をしました。 ・プレゼント(校長先生、教頭先生、養護教諭)	ひまわりの種 位取り板 	「十のへや」に10のまとまりを入れたるOK、残りを「一のへや」に入れたるOK 10のまとまりを作った箱 次回準備。
			・2位数を正しく数えたり、数えた数を数字で表したりする。(知・技) めざせ! かぞえめい人	・プレゼント(校長先生、教頭先生、養護教諭) ・位取り板を使って、数える。 ・量から数字 ・数字から量 ・〇〇に説明しよう 位取り板 「十のへや」「一のへや」「一のへや」が空位0	ブロック 位取り板	「40」をよんぜろ。 一人在籍なので、数え方について1年生に説明をする活動を設け、児童の思考が深まるようにしました。
9/14 (火)		1	・10のまとまりを意識しながら、ストローの数の数え方、表し方を考える。 一人在籍なので、様々な人との関わりを単元計画の中で設け、児童の学習意欲を高めたり、学びを深めたりします。	・給食担当の先生から頼まれる。 「ストローを学級ごとに配ります。人数分のストローをケースに入れてください。」 ・学級にストローを配る	ストロー 位取り板 必要な時に出す	先生から頼まれてやる気マンマン。 位取り板を出した。 ヒントにして数えることができた。

【⑥ 本時】

学習の様子

「10のかたまりを作って...」と言いかから、位取りをする。
「また、ストローを配りたい。」と言って、給食担当の先生にお願いに行った。

自分の手立てについて気付いたこと

位取り板は、自分の考えを整理して発表することに有効だった。
1年生に説明する活動は、思考を深める手立として有効だった。
10のまとまりを作る箱②

